



5月7日(火)

## 迷子になった時

聖書朗読 マルコの福音書 16:1~20

わが神、主よ。あなたがなさった奇しいわざと、私たちへの御計りは、数も知れず、あなたに並ぶ者はありません。私が告げても、また語っても、それは多くて述べ尽くせません。  
詩篇40:5

私の両親はタイで20年間、宣教師をしていました。タイに行く時、私はまだ1歳でした。1958年に両親がアメリカを出発した時は、タイに行くことは驚くべき冒険であっただろうと想像します。

私たち家族は、良く田舎の教会を訪問しました。道は舗装されておらず標示もなく、私たちは迷子になりました。父は「私たちはこれから冒険に行くんだ!」と言いました。教会に行く途中に、私たちは思いがけずすばらしい滝を発見したり、おいしい果物を売っている市場を見つけたりしました。あるいは、ただ長くて険しい回り道をして目的地に着いたこともありました。

イエス様に従うことは日々冒険です。私たちは迷子になったように感じたり、思うように行かずに自信をなくしたりします。また、時として自分たちが良い働きをしているのかわからなくなります。しかし、イエス様が見ていらっしゃるものは、私が見ているものとは明らかに異なります。イエス様は結果ではなく、私たちがイエス様に従っているという事実を見られます。イエス様は私たちが従う時、ご自身が共におられるということ覚えていなさいと言っています。イエス様が最も重要とされるのは、私たちが私たちの力で何事をするのではなく、イエス様を信頼して歩むことだと仰っています。

キリストへの信仰は、私たちが進むべき道を知っていると、自分の道は自分で決定するとかを意味するものではありません。行く先を知らずとも、私たちが主に従い信頼して歩むことを意味するのです。ですから、それはある意味大変な冒険なのです! 私の父のモットーを試してみてください。「迷子になったらいつでも冒険だ!」

讚美歌 285 主よ、み手もて

祈り 主よ、私たちは迷子だと感じたり、何をすべきか自信を失ったりすることがあります。私たちが自分自身に頼っていたと気づいた時に、あなたが与えてくださる恵みに感謝します。私たちがあなたにより頼み、あなたがいつも私たちにとって良いことを望んでおられると信ずることができるよう助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

テキサス州 ラボック / レベッカ・タリー

5月8日(水)

## 見えないものを見る

聖書朗読 ルカの福音書 5:17~26

すると彼は、たちどころに人々の前で立ち上がり、寝ていた床をたたんで、神を  
あがめながら自分の家に帰った。  
ルカ 5:25

肉体的な癒し、例えば傷が治るとかは目に見えるものです。しかし、私たちにとって、霊的な癒しを見ることはそれほど簡単ではありません。神様にはその両方が見えます。どちらの癒しがより重要でしょうか。

イエス様は中風の人を肉体面と精神面の両方で癒しました。小さな家に集まった人々は、その人の肉体的な癒しを目撃して驚きました。「私たちは、きょう、驚くべきことを見た」(26節)と。中風の人はその日、変えられた者として家を出て行きました。イエス様が彼の罪を赦されたのです。彼の霊的な癒しは、部屋にいて、イエス様の權威に疑問を投げかけた人々の目には見えないものでした。

バプテスマは、目に見える私たちの霊的な癒しの始まりです。そしてそこから、私たちは、キリストにあって霊的成長を遂げることができます。神様の恵みは私たちを変えて下さいます。クリスチャンになる前から私たちを知っていた人々は、私たちが変わったことで、神様のみわざをハッキリと見るすることができます。

新しくできた傷が癒される度に、私は神様がなさることのできる癒しに驚かされます。そして、それ以上に、私はイエス様が私たちの人生において、見えないところでそっと触れてくださることが喜びです。私の罪は赦されて、日々、私は新しい者として歩むことができますからです。

讚美歌 529 ああうれし、わが身も

祈り 聖なるお父様、あなたの愛と癒しは私の想像を越えています。

あなたが尊い魂をご自身の御国に加えられるとき、私たちは「私たちは、きょう、驚くべきことを見た」と言って、あなたの御名をほめたたえます。イエス様の御名により。アーメン。

コロラド州 プエブロ  
キャロル・ローズ

5月9日(木)

## 物事を単純に保つ

聖書朗読 ルカの福音書 9:1~6

イエスは、十二人を呼び集めて、彼らに、すべての悪霊を追い出し、病気を直すための、力と権威とお授けになった。それから、神の国を宣べ伝え、病気を直すために、彼らを遣わされた。  
ルカ 9:1~2

ケニアの教会と学校に関わった素晴らしい20年の後、妻と私はタンザニアに移住しました。私たちは共通語であるスワヒリ語を知ってはいましたが、異なる地域の人々のグループに入ってイエス様について教えるときには、その人々の母国語を学ぶことが重要であることを知っていました。

それで私たちは村に引っ越して、初めて会う人々のグループに入り、彼らの言語を学び始めました。会う人のほとんどはクリスチャンではありませんでした。私たちはもうお手上げになりそうでした。

しかしついに、私たちは数人の人々と友情を育み、さらに彼らはイエス様について学ぶことに興味を持ってくれました。彼らの言語で私たちが持っていた聖書は、ルカの福音書の箇所だけでした。ですから私たちはルカの福音書を読むことから始めました。最初は、彼らの言語に訳された聖書がこれしかないことを気にしていましたが、そこで何年も経過するうちに、何人かがイエス・キリストの福音を自分たちの言葉で話したのです。

そして振り返ってみると、ルカの福音書は、彼らの心に神様が働かれるのに十分であったと気づきました。イエス様は弟子たちに「分かり易く」と言われました。私たちが持っている知識よりも、私たちが持っている信仰こそが重要です。つまり、信仰があるからこそ、良い知らせである福音を受け取ることができるのです。人は信仰により、神様が人々を永遠の命へと導かれるためにイエス様を地上にお遣わしになったことを信じることができます。

讚美歌 271 いさおなき我を

祈り イエス・キリスト様、私たちは今日、あなたの恵みという贈り物に感謝します。あなたの誠実さに感謝します！ イエス様の御名により。アーメン。

テキサス州 ラボック / ティム・タリー

5月10日(金)

## イエス様の教えに従いたいですか

聖書朗読 ルカの福音書 9:57~62

また、天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。素晴らしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってまいります。  
マタイ 13:45~46

「私はあなたのおいでになる所なら、どこにでもついて行きます。」この人の言った言葉は、多くの人々の気持ちを代弁しています。人々は、イエス様がツァアラトに冒された人や、中風の人、目の見えない人、耳の聞こえない人、悪霊に憑かれた人を癒すのを見てきました。彼らはイエス様が死人を蘇らせたり、ほんの少しの食べ物だけで何千人ものお腹を満たしたりされたことを目撃しました。イエス様は明らかに無限の力と手段を思いのままにされました。そんなイエス様に誰だっついて行きたいと思うでしょう。

しかし、イエス様はその男性に、自分について行くことでこれからの人生全てが上手くいくわけではないのだと仰いました。弟子となることには犠牲が伴うことを話されたのです。、実際、弟子になるということは、物質的な快適さを捨て、全てにおいてイエス様について行くことを最優先にしなければなりません。イエス様は、私たちがイエス様だけを見上げ、歩んで行くことを期待されています。

都合のいい時だけイエス様に従おうとしていませんか。また、教会にいるときは、イエス様のようにになりたいと思い、別の所ではイエス様のことは忘れてオツケーと思いませんか。勿論、イエス様はあなたを赦してくださっています。また、あなたが失敗してもそれを赦して下さい。しかし、あなたの心が全てイエス様に向いているか自分自身を吟味しなさいと仰っています。

あなたはイエス様に従うためにすべてを明け渡す準備ができていますか。

聖歌 541 みな捧げまつり

祈り 主よ、あなたは偉なる犠牲を払って、私たちに恵みと永遠の命を与えてくださいました。私たちがあなたに従うために、人生の中で持っているものすべてを喜んで明け渡すことを通じて、感謝を表すことができますように。キリストを通じて祈ります。アーメン。

テキサス州 グランベリー / ジャン・ノックス

5月11日(土)

## 後悔しない

聖書朗読 ルカの福音書 10:~37

神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。  
コリントⅡ 7:10

病院で親戚を見舞って帰ろうとしていると、荷物でいっぱいになった重そうなショッピングカートを押している、だらしない格好の男性が近づいてきました。私は、彼は、ホームレスで彼のカートには、古い衣服や物が積まれているのだろうと推測しました。しかし、後になってから、私はよく見ていなかったことに気づきました。私は、職場に向かって急いでいたので、彼の控え目に頼むお願いを丁重にお断りしました。

しかし、私は車を運転しながら、私は、あの男性の荷物に溢れたカートよりも膨れ上がった自分の罪の意識に責め立てられました。貧しい男性の謙虚な嘆願に対して、私はお金がなかったからではなく、時間がないと自分に嘘をついて、彼のお願いを冷淡に断ったのだということに気づいたのです。悲しいことに、それは私の心が自己中心に満ちていたことでした。その日の仕事を終わらせた後、私は重い心を引きずり、良心の呵責に苛まれて、重い足で病院の駐車場に戻りました。しかし、私はその貧しい男性を見つけることはできませんでした。そして、私は後悔の念とともに家まで車を走らせました

何年も前のその経験は、私に自分の心を吟味することを思い出させます。私たちが自分の心を吟味する時間を取り、隣人を助け、そして永遠の我が家へと後悔せずに向かうことができますように。

讃美歌 524 イエス君、イエス君

祈り 主よ、私たちはあなたの霊が私たちの心を裁かれることを知っています。私たちがいつもこの世におけるあなたのみわざを探し求め、あなたのみ恵みという贈り物を困っている人々と分かち合う機会を見逃すことがないように助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ロバートL・ガーデンハイアー

5月12日(日)

## シンプル・ギフト

聖書朗読 ルカの福音書 12:16~21

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありません。  
ルカ 9:25

ここにシンプルな真実があります。持っているものが少なければ、心配が生ずることも少ないということです。若いころ、私は古いヴィンテージ・カー(編注:特に1917年~1930年間に製造されたクラシック・カー)を買いました。面白い趣味になると思ったのです。しかし、時間とお金、クリーニング、ワックスがけ、機械的故障(立往生になることも含めて)を繰り返した後のパーツ探しといったものは、継続的な重荷と出費になりました。美しい「注目を集めるもの」を所有する喜びより、それらの心配事の方がはるかに重くなりました。古い車を売った後、人生はよりシンプルになり、時間とお金は、主にある人々と分かち合うといった、より良いことに使えるようになりました。

有名なシェーカー信者(編注:米国のキリスト教の一派の信者)の讃美歌『シンプル・ギフト』を歌います。

つつましくあることは 天からの贈り物 とらわれのないことも 天からの贈り物  
自分たちのいるべき場所に行くことができるのも 天からの贈り物  
そしてまさにその正しき場所に自らがあることがわかれば  
そこそが愛と喜びの谷間となるのだ ——ジョゼフ・ブラケット

シンプルで自由であるとはどういうことでしょうか。シンプルさとは唯一の方向性を持つこと、人生のすべてにおいて神様を中心とした目的を持つことです。自由とは、この世的な望みや心配に煩わせられないということです。あなたには人生の中で手放す必要のあるものはありますか。

聖歌 425 罪、重荷を除くは

祈り 聖なるお父様、あなたのたくさんの贈り物、イエス様にある、罪の重荷と罪責感からの自由のゆえに感謝を捧げます。私たちの心をあなたの英知の喜びと愛の平和で満たしてください。イエス様の名により。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ハロルドL・シモンズ